

平成20年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	未来のしごと体験プログラム		
法人名	社団法人宮城県専修学校各種学校連合会		
学校名			
代表者	会長 橋本 榮一	担当者 連絡先	総括次長 目黒 文男 TEL022-211-7157
<p>1. 事業の概要</p> <p>当連合会加盟の専修学校の協力を得て、高校生の就労観の育成を図ることを主たる目的とし、職業理解のための体験学習講座「未来のしごと体験プログラム」を実施することとした。実施計画にあたり参加校の単なる学校紹介的な内容を避け、職業意識の啓発に資する内容構成に基づきその場を提供し、その効果測定のためにアンケートを実施することにした。</p> <p>講座開設専修学校数は8校で講座数は24講座となり多くの高校生の参加を見込んだ。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>(1) 高校生の就労観の育成について 参加した高校生のほとんどがそのアンケートで将来の仕事を考える上で役立ったと答えており、その内容についても好評であり、目的はほぼ達成したと思われる。</p> <p>(2) 各専修学校、受け入れ高等学校との連携方法 本年度が初めての実施にも拘らず実施委員会及び参加専修学校と高等学校進路指導研究会との連携はスムーズであった。</p> <p>(3) 参加高校生数について 準備期間が短かったにも拘らず8校24講座を開設できたのはよかったが、各現場の高等学校・高校生への周知が徹底されず参加者が少なかったのは残念である。</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>参加高校生の80%が大変満足、20%がやや満足と答えており、職業への意識を高めるという目的は達成されたと思われる。</p> <p>また、高等学校との連携を通して、専修学校の行っている職業教育への高校教員の理解も深まり、今後の本事業の展開についての可能性を見出すことができた。</p> <p>③今後の活用</p> <p>文部科学省の委託事業という本事業の信頼性にに基づき、県内の高等学校との連携をより進め、高校生の職業意識を高めることに寄与するとともに、職業教育を担う県内専修学校の振興に努めたいので、今後とも継続し実施したい。</p> <p>④次年度以降における課題・展開</p>			

今年度の反省点は、プログラムの実施の周知が遅れ、現場の高等学校に徹底されず参加人数が少なかったことである。

これは、今回のような委託事業は初めてのことであり準備期間がほとんど無かったことに起因するものと思われる。次年度は早めの計画・開催準備を行い、各高等学校への周知を徹底するとともに、参加専修学校数・開設講座数の増加(多くの分野)と内容の充実を図り、より魅力的なプログラムとしたい。

なお、すでに次年度の本事業に参加の意思を表明している専修学校数および開設予定講座数は本年度の約2倍に達しており、各高等学校に対する早期の周知活動を行うことにより、多くの高校生の参加を期待するものである。

3. 事業の実施に関する項目

①職業体験講座、講演会の実施

実施コース一覧

実施コース・タイトル	実施月日	定員	参加数	実施担当校
ホテルの仕事を学ぼう	8月22～23日	20	6	仙台YMCA国際ホテル専門学校
プチ エステティシャンになろう!	7月25～26日	20		仙台ビューティーアート専門学校
スポーツを仕事に! スポーツ・保育・福祉業界のお仕事体験	7月30～31日	30	1	仙台リゾートアンドスポーツ専門学校
介護福祉士ならではのプロの技術を体験してみよう	8月18～19日	20	1	仙台医療秘書福祉専門学校
こどもを理解する～保育士・幼稚園教諭とは～	8月18～19日	20	10	仙台医療秘書福祉専門学校
「医療事務」の仕事に学ぶマナーとコミュニケーション	8月18～19日	20		仙台医療秘書福祉専門学校
歯科衛生士の仕事を学ぼう	8月7～8日	24		仙台医療福祉専門学校
福祉の仕事	8月7～8日	30		仙台医療福祉専門学校
ビジネスマナーを身につけよう!	8月7～8日	20		仙台大原簿記公務員専門学校
ファイナンシャルプランナーって何だろう!	8月7～8日	30		仙台大原簿記公務員専門学校
税理士・公認会計士の仕事とは!	8月7～8日	30		仙台大原簿記公務員専門学校
病院受付業務・請求業務を体験しよう!	8月7～8日	20		仙台大原簿記公務員専門学校
グランドアテンダント・キャビンアテンダントの仕事体験	7月22～23日	20		東北外国語専門学校
通訳者の仕事を体験しよう!	7月22～23日	15		東北外国語専門学校
インテリアコーディネーターになろう!	8月7～8日	30		東北文化学園専門学校
ピラミッドと伊能忠敬の世界	8月6～7日	20		東北文化学園専門学校
にこにこ医療事務、医療秘書を体験しよう	7月30～31日	40		東北文化学園専門学校
介護福祉士になろう	8月7～8日	30		東北文化学園専門学校
建築の仕事を体験しよう	8月21～22日	20		東北文化学園専門学校
子供のための段ボール遊具デザイン	7月29～30日	20		東北文化学園専門学校
地味だけど、とっても大事な診療情報管理士のお仕事	7月30～31日	30		東北文化学園専門学校
水と食品添加物を調べてみよう	7月30～31日	10		東北文化学園専門学校
保育ってなあに!(保育するってことは)	7月28～29日	25	2	東北文化学園専門学校
臨床工学技士の仕事～人工臓器に触れてみる?～	8月20～21日	30		東北文化学園専門学校
合 計		574	20	

開設した専修学校数は8校、24講座で募集定員は574名であったが、参加高等学校数および生徒数は10校、20名にと止まった。受講者の多くは保育関係の講座(2講座12名)を受講し、その他ホテル(6名)、介護福祉(1名)、スポーツ(1名)という内訳であった。高校別の内訳では参加10校中、普通高校(9校18名)、商業高校(1校2名)であった。

受講者数10名の講座が最も受講者の多い講座となったこともあり、少人数での体験型学習は生徒たちの就労観、職業に対する意識を高めることに大きな効果をあげたものと思われる。

アンケートの結果については大変満足(80%)とやや満足(20%)の合計が100%となっており、上記の成果を証明する結果となった。特徴的なその理由としては「今後の自分の進路を考える上で大変参考になり、参加してよかったと思いました。」、「本当に沢山のことを学ぶことができた2日間でした。」などが記載されている。

②その他

社団法人宮城県専修学校各種学校連合会が主催し、文部科学省の委託事業としてさまざまな職業を体験できるプログラムを実施し、多くの参加者を見込んだが、当初の予測より大幅に下回ったことは残念である。次年度に関してはすでに各専修学校より参加の希望が寄せられており、参加校、講座数ともに倍増する予定である。本年度の反省を生かし、各高等学校への早期の周知活動を徹底することで、より多くの高校生の参加を期待したい。